

JAPAN PREMIERE

WHAT HAPPENS TO CHILDREN WHEN THEIR PARENTS ARE DEPORTED?



A film by Francisco Alarcón
THE DEPORTATION OF INNOCENCE

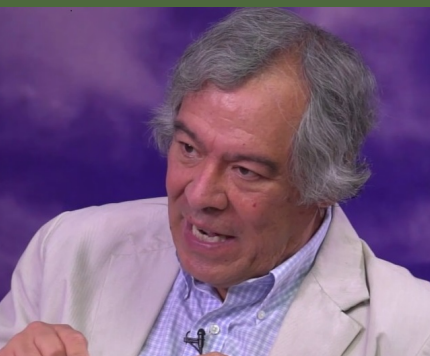
www.thedeportationofinnocence.com

国際社会学研究会主催
国際ワークショップ・映画試写会 **日本初公開!**

無実のものたちの強制送還

—メキシコ人移民両親たちのアメリカからの排除—

The Deportation of Innocence: Removal of Mexican Parents from the U.S.



講師

Rafael Alarcón Acosta 教授

メキシコ国立・北部国境大学院大学 (El Colegio de Frontera Norte)

講師略歴

カリフォルニア大学バークレー校にて都市・地域計画博士号取得。主要な研究テーマは、米墨間の移民が双方の社会・経済にもたらす影響や、メキシコ系移民のアメリカ合衆国における統合。主著に *Making Los Angeles Home: The Integration of Mexican Immigrants in the United State*, University of California Press. (Luis Escala 他との共著、2016年) など。

親が強制送還されたら、子どもはどうなるのか？

トランプ政権の登場により、「国境の壁建設」論争とならんで、アメリカ合衆国からのメキシコ人移民の強制送還が再び注目されている。

本セミナーでは、この問題を移民の子どもの視点から捉え、国際移住機関 (IOM) 第2回グローバルフィルム映画祭で新人賞を受賞した Francisco Alarcón 氏制作の映画『無実のものたちの強制送還』(2017年) を切り口に考える。その上で、メキシコ移民研究の第一人者であり、Francisco 氏の父親でもある Rafael Alarcón 教授とともに、移民家族の苦悩と強制送還政策の長期的影響について議論する。

日時：2月7日(水) 17:00~19:30頃

映画上映(50分・英語・日本語字幕なし)後、セミナー(英語・部分通訳あり)

場所：一橋大学附属図書館1F・図書館会議室

入場無料
事前登録にご協力下さい↓



連絡先

一橋大学 政治・国際社会学共同研究室
042-580-8803 / m.yoshitoshi@r.hit-u.ac.jp